

# 2011年3月期 決算説明会

2011年6月15日



イメージ情報開発株式会社

大証JASDAQ：証券コード 3803

本年3月に発生しました東日本大震災により被災された皆様に対しまして、心からお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興をお祈り申し上げます。

**I グループ概要**

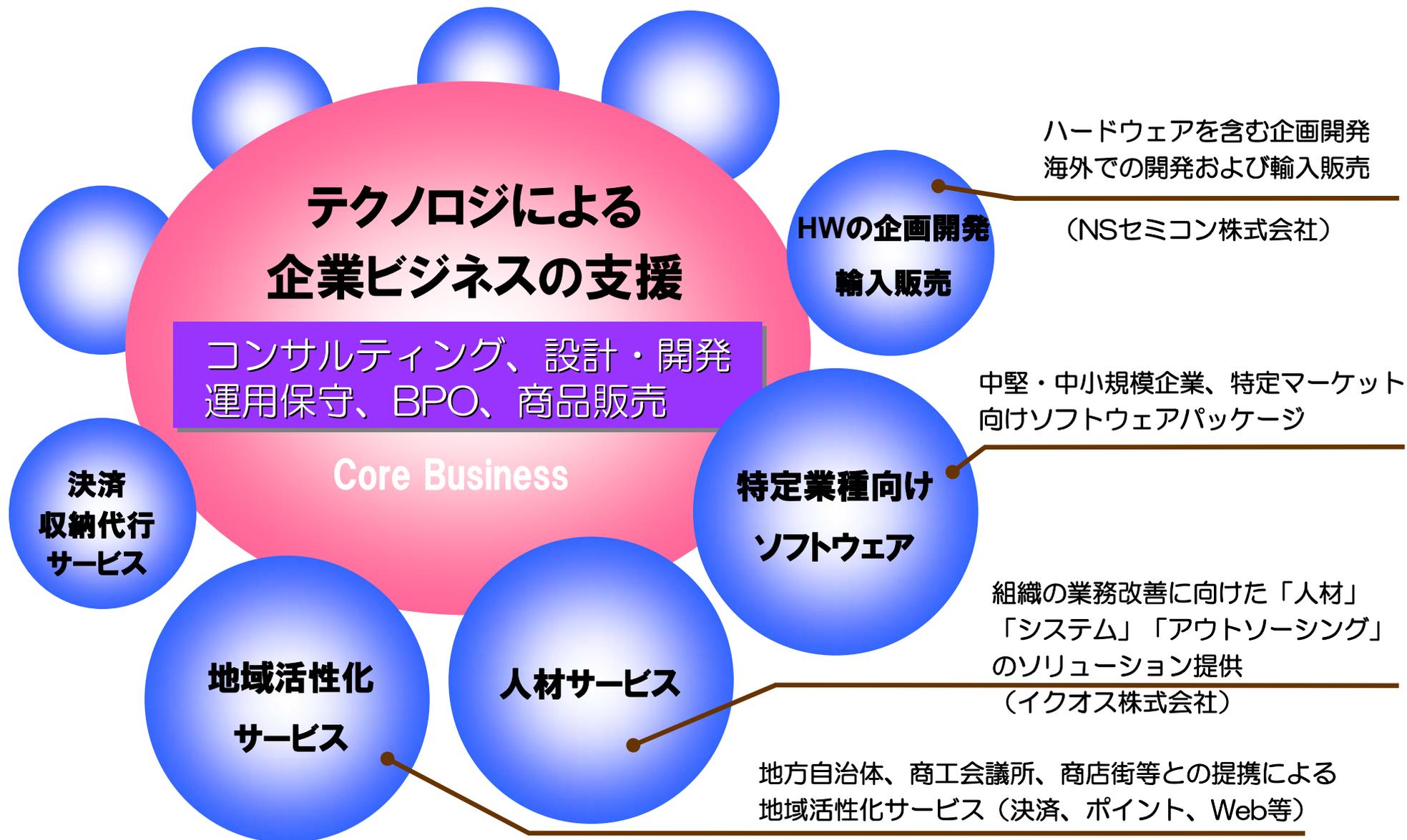
**II 2011年3月期 決算概要**

**III 中期経営計画**



【設 立】	1975年（昭和50年）10月
【代 表 者】	代表取締役社長 代永 拓史
【資 本 金】	4億6,705万円
【事 業 内 容】	情報システムの企画・開発、保守・管理運営
【本社所在地】	東京都港区芝大門2-10-12
【子 会 社】	2社（NSセミコン株式会社、イクオス株式会社）
【沿 革】	昭和50年10月 会社設立 昭和51年 4 月 コンピュータ&イメージデータの複合処理事業を開始 昭和55年12月 本社事務所を東京都港区新橋に移転 昭和59年 4 月 システムインテグレーション事業に進出 平成16年 4 月 セキュリティサービス販売を開始 平成17年 9 月 インターネットデータセンター開設 平成18年 4 月 大阪証券取引所へ上場（現JASDAQ）へ株式上場 平成19年 5 月 本社事務所を東京都港区芝大門に移転 平成21年 7 月 NSセミコン株式会社を子会社化 平成21年12月 イクオス株式会社設立

- システム開発を中心とした総合サービスによる『企業ビジネスの支援』、シナジーの得られる製品・サービスで構成します。



I グループ概要

II 2011年3月期 決算概要

III 中期経営計画

## ■ 当連結会計年度業績

### ◎ 売上高 813百万円(前期:817百万円)

前期比0.5%の減収

システム構築案件の減少。電子機器販売、BPO/サービス分野の増加

### ◎ 経常損失 85百万円(前期:経常損失 70百万円)

システム構築案件の減少、および新規サービス推進に伴う営業費用増加による損失拡大

### ◎ 純損失 108百万円(前期:純損失 165百万円)

市況の低迷を受けて投資有価証券評価損を計上

本社移転計画に基づき移転関連費用を減損損失として計上

「資産除去債務に関する会計基準」の適用により特別損失を計上

## ■ 事業進捗状況

IT総合ソリューションカンパニーの実現に向けて事業を推進

### ◎ IT支援サービスの推進

- ・ 顧客環境の変化等によりシステム構築案件が減少
- ・ 組織一元化のため中部拠点（名古屋営業所）を集約
- ・ 人材教育、技術蓄積の強化
- ・ スマートフォンソリューションの強化

### ◎ ハードウェア関連サービスの推進

- ・ 電子機器、LED等のソリューション販売が堅調に推移

### ◎ 自社プロダクトサービスの促進

- ・ 段ボールメーカー向け基幹システム『i-case（アイケース）』の機能強化、プロモーション強化（TOKYO PACK2010出展）

### ◎ サービス・BPOの拡大

- ・ 決済サービス、地域サービスの推進（商工会議所向けサービス契約数70）
- ・ 医療機関向けサービス、人材関連サービスを開始
- ・ デジタルサイネージによる地域活性化サービスの構築に着手

## ■ 経営インフラの強化を実施

### ◎ 管理体制の強化

全社組織の見直し、プロジェクト管理体制、要員管理体制を強化  
不採算プロジェクトの低減

## ■ 企業投資

### ◎ iPhoneアプリケーション開発ベンチャーのパンカク社に出資

- ・スマートフォンビジネスの成長性ならびにiPhoneにおけるパンカク社の技術力と実績、技術を活用したプラットフォームビジネスモデルを評価

### ◎ ストリートメディア社と資本・業務提携

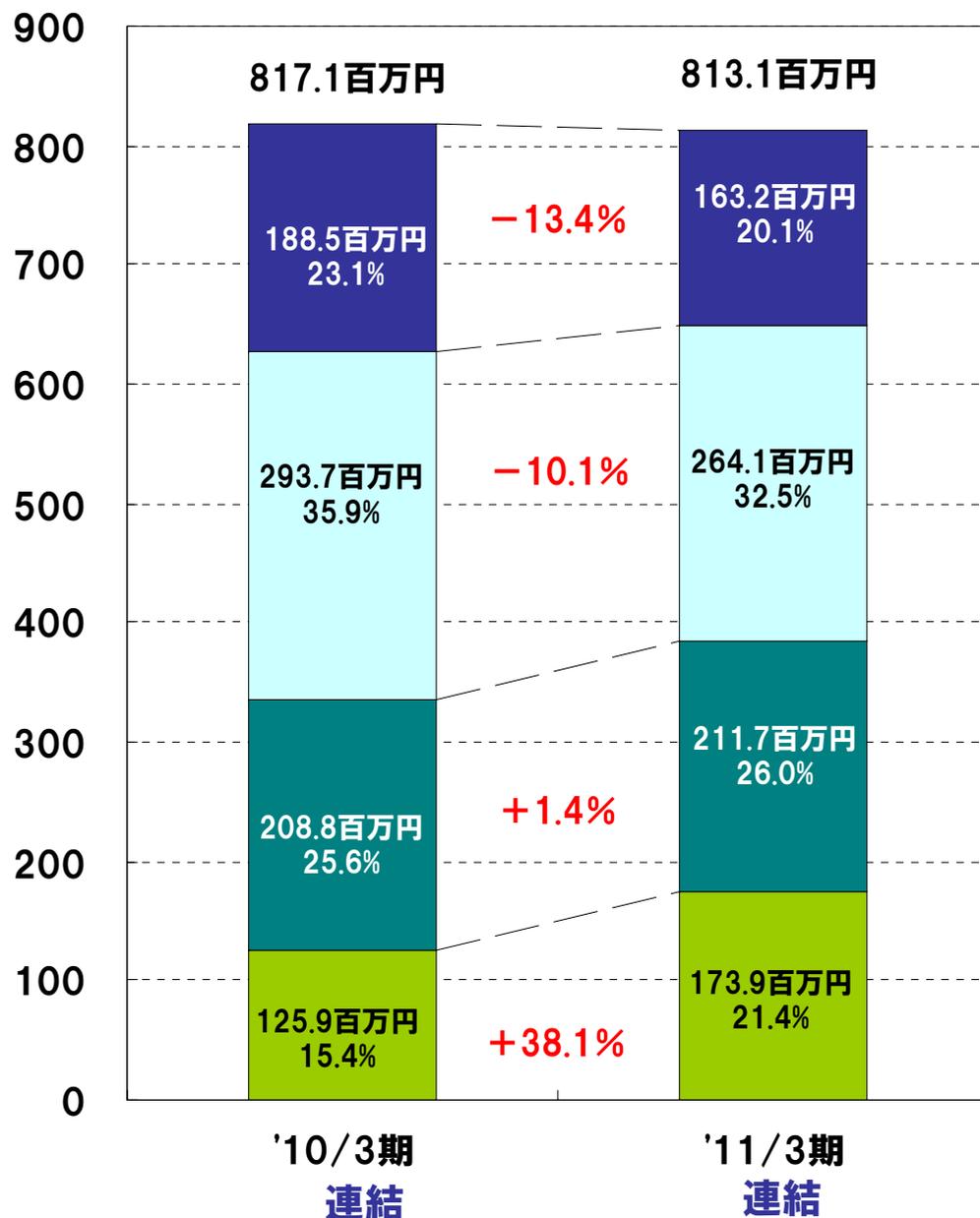
- ・ストリートメディア社のデジタルサイネージにおけるデジタル放送波による情報配信技術の優位性を評価
- ・当社のビジネスとのシナジー効果を想定。デジタルサイネージ関連事業を共同で推進

【単位：百万円】

	‘10/3期	‘11/3期	対前期比	
	実績	実績	増減	増減率 (%)
売上高	817	813	△3	△0.5
売上総利益	270	219	△51	△19.0
販管費	362	372	10	2.8
営業損失	△92	△153	△61	—
経常損失	△70	△85	△15	—
当期純損失	△165	△108	56	—

- ✓ 売上高：電子機器販売、BPO/サービス分野の増加、システム構築案件の減少
- ✓ 営業損失：システム構築案件の減少等による売上総利益減  
新規サービス推進に伴う販管費の増加により損失拡大
- ✓ 当期純損失：市況の低迷による株式価値下落のため投資有価証券評価損を計上  
本社移転計画に基づき移転関連費用を減損損失として計上  
「資産除去債務に関する会計基準」の適用による特別損失の計上

【単位:百万円】



## 商品販売

LED等の電子機器販売が増加するも、システム構築案件におけるサーバ等のシステム機器販売が減少

## コンサルティング/設計/構築

上期顧客環境の変化等によりシステム構築案件が減少するも下期より受注が進み改善傾向。

## 運用/保守

大型のシステム構築案件の完了に伴い、商品保守が増加

## BPO/サービス

決済および商工会議所向けサービスの増加、医療機関向けサービス等の新規サービスにより増加

【単位：百万円】

	'10/3期	'11/3期	対前期比	
	実績	実績	増減	増減率 (%)
資産合計	1,276	1,023	△252	△ 19.8
流動資産	1,079	767	△311	△ 28.9
固定資産	197	256	58	29.9
負債合計	363	212	△151	△ 41.6
流動負債	245	133	△112	△ 45.6
固定負債	117	78	△39	△ 33.1
純資産合計	912	811	△101	△ 11.1
負債純資産合計	1,276	1,023	△252	△ 19.8

- ✓ 流動資産：現預金減 293百万円、受取手形及び売掛金減 4百万円
- ✓ 固定資産：投資有価証券増 74百万円、敷金及び保証金減 4百万円
- ✓ 流動負債：買掛金減 96百万円、賞与引当金減 10百万円
- ✓ 固定負債：退職給付引当金減 15百万円、負ののれん減 25百万円
- ✓ 純資産：利益剰余金減 108百万円

【単位：百万円】

	‘10/3期	‘11/3期	対前期比
	実績	実績	増減
営業活動によるキャッシュフロー	27	△204	△232
投資活動によるキャッシュフロー	256	△89	△346
財務活動によるキャッシュフロー	△27	△0	27
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	257	△293	△551
現金及び現金同等物の期末残高	442	148	△293

- ✓ 営業活動CF：税金等調整前当期純損失 105百万円  
仕入債務の減少額 96百万円  
主に損失の計上に伴う資金流出
- ✓ 投資活動CF：投資有価証券の取得による支出 75百万円
- ✓ 財務活動CF：過年度の未払配当金支払のみ、ほぼ動き無し

I グループ概要

II 2011年3月期 決算概要

III 中期経営計画

# 中期経営計画

2012年3月期～2014年3月期

2011年6月15日



イメージ情報開発株式会社

先端テクノロジーとビジネスへの活用力を堅持し、これを強みとした独創性のある総合サービスを提供し続けることで、社会とともに発展する。

サービス品質の向上と新規サービスの創造による収益性の向上と事業領域の拡大を目標としており、売上高・営業利益の増額と利益率の改善、ROE（自己資本当期純利益率）の向上を重要な経営指標と考えております。

## 当社のIT総合サービス

コンサルティング  
設計・開発  
運用保守  
BPO・サービス  
商品販売



## 新技術とその応用による事業拡大

技術開発による事業基盤の強化  
製品・サービスの開発

業界向けソリューション開発による  
事業領域の拡大

## ■ 成長分野への経営資源の集中と収益構造の見直しを図る、中期3か年計画方針

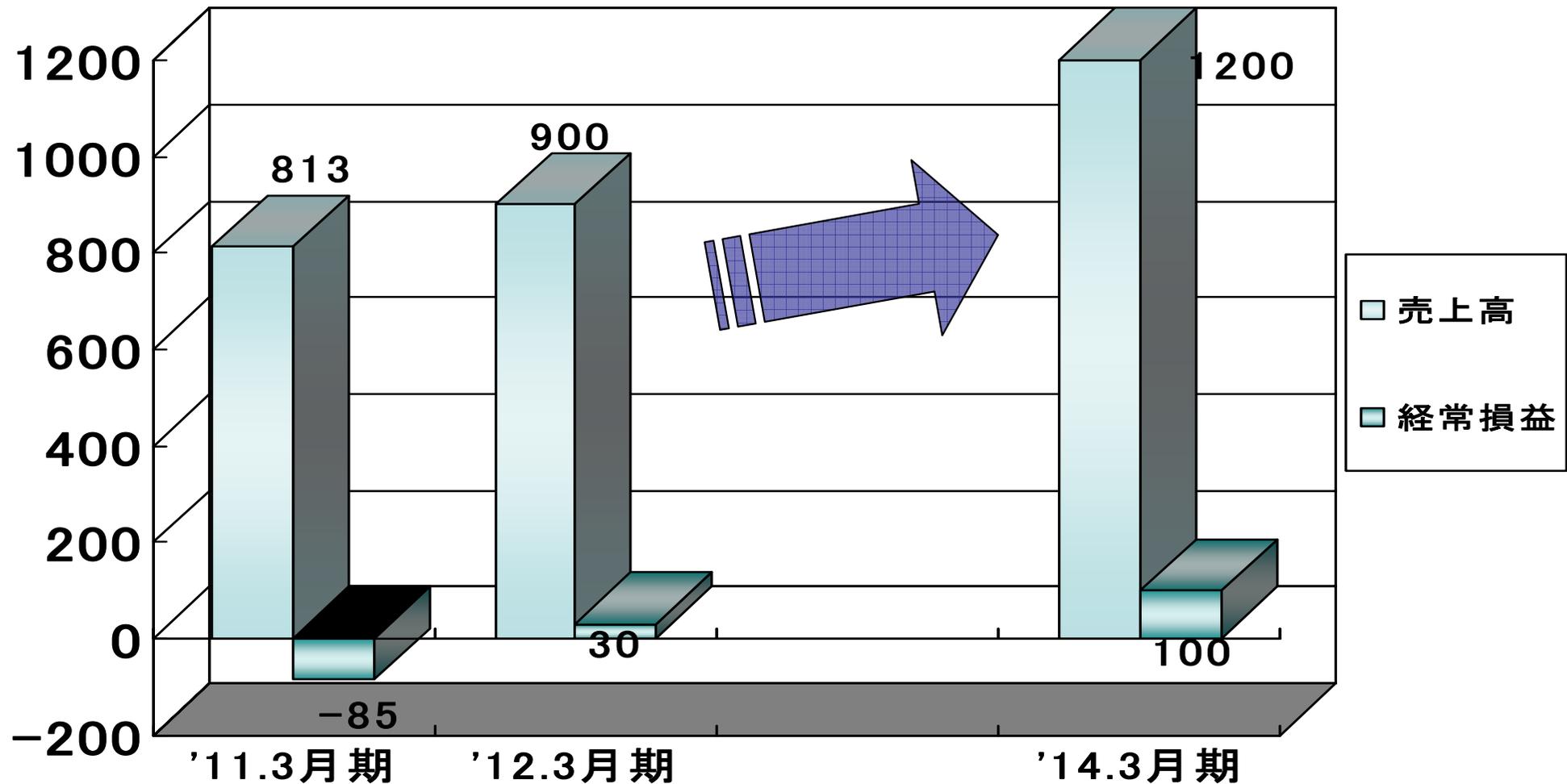
- ・ 収益構造の見直し  
事業構成比率、固定費の圧縮など、収益性の向上
- ・ 技術開発、技術蓄積  
新技術の開発および技術ノウハウの蓄積
- ・ 人材強化  
技術力、プロジェクト推進力、営業力
- ・ コンサルティング/設計構築分野の確実な成長  
金融・製造・流通・サービス業向けシステムを中心として推進
- ・ 商品販売分野の確実な成長  
自社プロダクトを中心とし、収益性を重視した確実な成長
- ・ BPO/サービス分野の積極成長  
新規サービス、新規マーケットの開拓による積極成長

# 中期目標



- 2014年3月期 売上高12億円、経常利益1億円、ROE 7.13%
- 2014年3月期 BPO・サービス分野の売上高構成比率を35%へ(2011年3月期 21.4%)

【単位:百万円】



## ■ コンサルティング/設計構築の受注強化と収益構造の見直しによる増収、黒字化

- コンサルティング/設計構築の受注強化  
金融・流通業を中心に受注活動を強化
- デジタルサイネージソリューションの推進  
サービス構築、営業促進 ※デジタルサイネージジャパン2011出展  
⇒ 商品販売、設計構築、運用保守分野の売上増
- 自社製プロダクトの推進  
『i-case (アイケース)』のプロモーション強化 (A-PACK2011出展等)  
⇒ 商品販売分野の売上増
- BPO/サービス分野の推進  
決済関連サービスを中心に新規機能、新規サービスの構築  
医療機関向けサービスの推進
- 本社移転  
7月に千代田区に移転予定。固定費の抑制

## ■ 売上増、収益性改善、コスト削減により、増収、黒字化

【単位：百万円】

	‘11/3期 (実績)	‘12/3期 計画			
		上期	下期	通期	増減率(%)
売上高	813	420	480	900	10.7
営業損益	△153	△10	40	30	—
経常損益	△85	△10	40	30	—
当期純損益	△108	△11	33	22	—

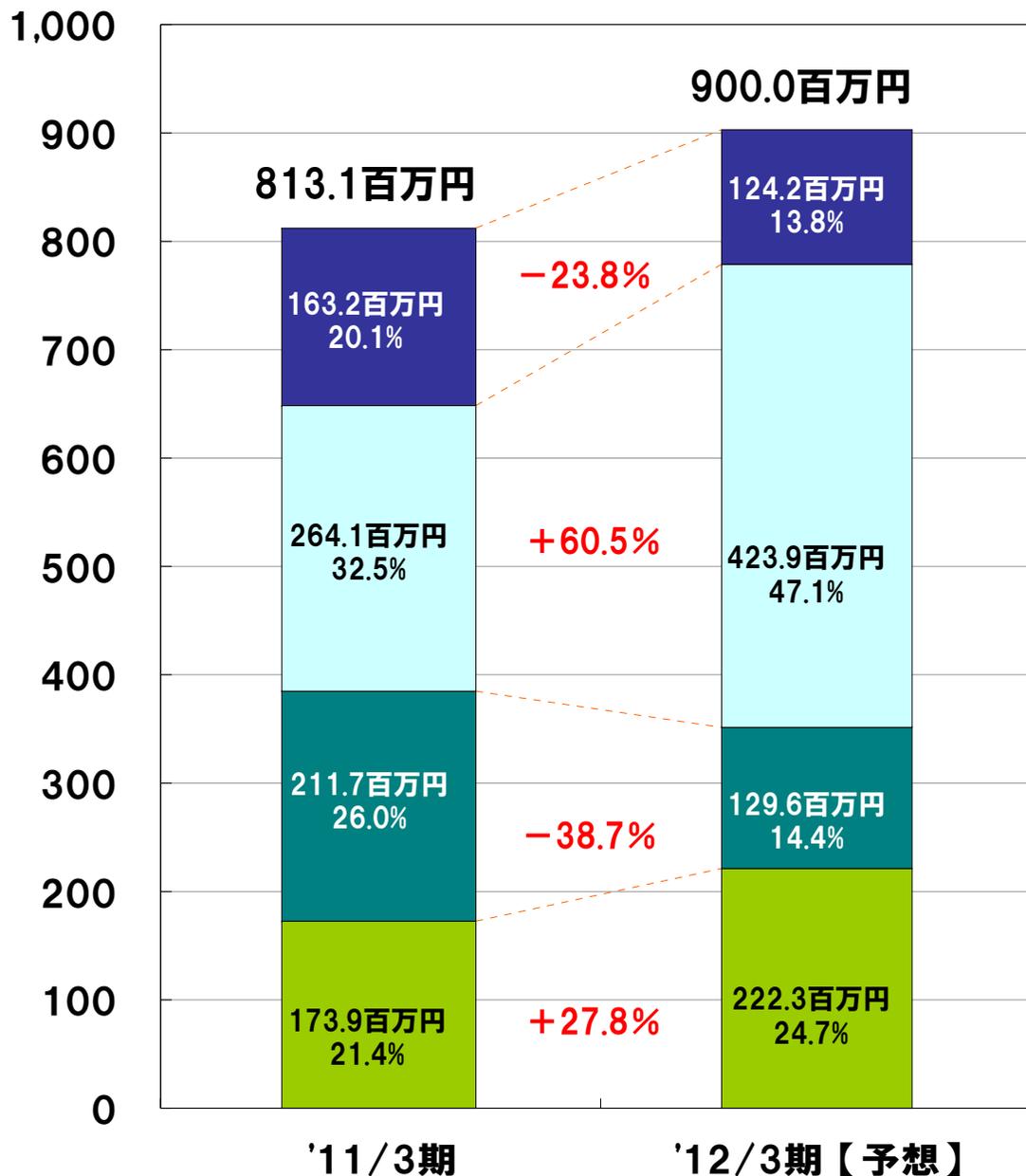
### ■ 下期に黒字化

- ・ システム構築案件の増加による収益向上
- ・ 自社製プロダクト販売等、新規サービスの売上増加による収益性向上
- ・ 本社移転に伴う固定費の圧縮

# 2012年3月期の計画(売上構成)【連結】



【単位:百万円】



## 商品販売

自社プロダクト「i-case」の販売を中心に推進

## コンサルティング/設計構築

クレジット会社のシステム構築案件、デジタルサイネージ関連開発等により牽引

## 運用/保守

前年度の大型商品保守案件の終了により減

## BPO/サービス

決済サービス、商工会議所向けサービス等の確実な積み上げ

医療機関向けサービス等、新規サービスによる増

本日は、ありがとうございました。

## 〈お問い合わせ先〉

担当窓口： イメージ情報開発株式会社

取締役 経営管理室長 百瀬 哲

TEL : 03 - 5733 - 5631

FAX : 03 - 5733 - 6038

URL : <http://www.image-inf.co.jp/>

本資料には、将来にわたる見通しに関する記述が含まれております。これらは現時点での予測であり、実際の業績は、今後の経済動向やその他の社会・政治情勢など様々なリスクや不確定要素により、見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。